学校番号	3010

令和8年度　　工業　　科

教科	工業	科目	写真技術	単位数	2 単位	年次	1 年次
使用教科書	自主編成教材						
副教材等	写真のことが全部わかる本(株式会社インプレス)、CG＆映像しくみ事典(株式会社ボーンデ						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

映像デザイン分野の根幹である写真の基礎技術を学ぶ科目です。デジタル一眼レフの構造や光の特性、画像処理などの専門知識を、講義やプレゼンテーションを通して体系的に習得します。正しい機材操作や画面構成の基礎を固め、将来の映像表現に生かせる実践力を養います。主体的・協働的に取り組む姿勢を重視し、小テストや「振り返り」を含むレポート等の充実度を高く評価します。

2　学習の到達目標

【知識及び技能】
一眼レフの構造や露出、デジタル処理の基礎を習得し、目的に応じた機材操作と画面構成ができる。
【思考力、判断力、表現力等】
写真の特性を理解し、適切な操作を判断・選択して、表現したい意図を視覚的に構成する力を養う。
【学びに向かう力、人間性等】
専門用語を正しく理解し、映像デザインの発展に主体的かつ協働的に取り組む人間性と態度を養う。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a：知識・技術	b：思考・判断・表現	c：主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	デジタル一眼レフの構造やレンズの役割、光や色の物理特性を正しく理解し、適切な露出や構図で撮影できる技能を習得することを重視する。絞り、シャッタースピード、ISO感度の関係を把握し、デジタル画像処理や記録メディアの特性についても知識を深める。機材の正確な操作を通じ、映像デザイン表現の基礎となる技術の習熟度を評価する。	撮影目的に合わせてカメラ機能を適切に選択し、自身の表現意図を写真として視覚的に構成する力を評価する。光や色の視覚効果、レンズの表現効果を理解し、適切な撮影モードや露出補正を論理的に判断する能力を重視する。写真の意義や役割を認識し、創意工夫を凝らして課題を解決し、意図を的確に伝える思考力や表現力を評価対象とする。	写真技術の習得に強い関心を持ち、専門用語の理解や機材の習熟に自ら意欲的に取り組む姿勢を評価する。課題制作を通じ、映像デザイン分野における写真の役割を多角的に捉え、自らの表現を発展させようとする探究心を重視する。広い視野を持って学びを深め、映像デザインの表現や発展に主体的かつ協働的に関わろうとする積極的な態度を評価する。
上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。 学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。			

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元（題材）の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1	カメラの構造	デジタル一眼レフカメラの基本構造と仕組みを学びます。	a:デジタル一眼レフカメラの基本構造とその役割を正しく理解している。 b:写真の持つ社会的意義やメディアとしての重要性を認識し、自身の思考を視覚的に表現する力を身に付けている。 c:専門用語の意味を理解し、自ら意欲的・主体的に写真表現の知識・技術の向上を図ろうとしている。	学習状況の観察 小テスト 定期考査	学習状況の観察 定期考査 レポートの取り組み状況	学習状況の観察 レポートの取り組み状況
	撮影レンズ	レンズの基本公式や画角、焦点距離による見え方の違いを理解し、「被写界深度」「構図」「ボケとブレ」といった写真表現の基礎技術を習得する。	a:デジタル一眼レフカメラやレンズの基本構造とその役割を正しく理解している。 b:写真の持つ社会的意義やメディアとしての重要性を認識し、自身の思考を視覚的に表現する力を身に付けている。 c:専門用語の意味を理解し、自ら意欲的・主体的に写真表現の知識・技術の向上を図ろうとしている。	学習状況の観察 小テスト 定期考査	学習状況の観察 定期考査 レポートの取り組み状況	学習状況の観察 レポートの取り組み状況
2	光と露出	写真において重要な光の役割を学び、絞り、シャッタースピード、ISO感度を組み合わせた「適正露出」の導き出し方を習得する。光源の種類や3原色の知識を深め、測光方式や撮影モードを使いこなして、表現意図に応じた光の捉え方を実践する。	a:光や色の物理的特性を正しく理解している。 b:写真の持つ社会的意義やメディアとしての重要性を認識し、自身の思考を視覚的に表現する力を身に付けている。 c:専門用語の意味を理解し、自ら意欲的・主体的に写真表現の知識・技術の向上を図ろうとしている。	学習状況の観察 小テスト 定期考査	学習状況の観察 定期考査 レポートの取り組み状況	学習状況の観察 レポートの取り組み状況
	感光材料とメディア	イメージセンサーの仕組みや記録メディアの特性を理解し、目的に応じた適切なメディア選択ができるようにする。	a:記録メディアの基本構造とその役割を正しく理解している。 b:写真の持つ社会的意義やメディアとしての重要性を認識し、自身の思考を視覚的に表現する力を身に付けている。 c:専門用語の意味を理解し、自ら意欲的・主体的に写真表現の知識・技術の向上を図ろうとしている。	学習状況の観察 小テスト 定期考査	学習状況の観察 定期考査 レポートの取り組み状況	学習状況の観察 レポートの取り組み状況

3	デジタル画像処理	トーンカーブやレベル補正、解像度といったデジタル画像処理（フォトレタッチ）の基礎を学び、撮影したデータを適切に仕上げる技術を身に付ける。	a:デジタル画像処理の仕組みを正しく理解している。 b:写真の持つ社会的意義やメディアとしての重要性を認識し、自身の思考を視覚的に表現する力を身に付けている。 c:専門用語の意味を理解し、自ら意欲的・主体的に写真表現の知識・技術の向上を図ろうとしている。	学習状況の観察 小テスト 定期考査	学習状況の観察 定期考査 レポートの取り組み状況	学習状況の観察 レポートの取り組み状況

※　表中の観点について　a:知識・技術　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度